

みなさん、おはようございます。
今日 10 月 14 日は後期の始業式です。

最初に先週の 10 月 8 日の前期の終業式で私が皆さんにお話をした内容を思い出してほしいと思います。少し変化をつけてみますが「〇〇〇〇は人の心の中で生れるものであるから、人の心の中に〇〇〇のとりでを築かなければならない」。〇〇〇〇と〇〇〇〇の中に入る言葉を皆さんのところの中でつぶやいてみてください。

改めてですが、「戦争や争い」と「平和や仲良し」は本当に紙一重です。私たちも世界中の人々も自分の「ところ」のあり方次第で「戦争や争い」が起きたり「平和や仲良し」であり続けたりすることを「ユネスコ憲章」が示してくれています。

ところで、いま大阪での万博が終わったことや、ノーベル賞の話題を色々ところで皆さんも聞いていると思います。万博の目的は「さまざまな課題に取り組むために世界各地から英知が集まる場」とされています。ノーベル賞は物理学、化学、生理学・医学、文学、平和の各分野で「人類に最大の貢献をもたらした人々」に贈られる賞です。

以前に生理学・医学賞を受賞された京都大学の山中伸弥先生はこれまでつなげたり組み合わせることができなかった 4 つの遺伝子をもとに iPS 細胞を導き出されたことが大きく評価されましたが、この発見には山中先生を支え続けている広島市出身の高橋和利先生が深く関与されています。

いずれにしても、これまで誰も成し遂げていない物事は実はこれまで誰もつなげたり組み合わせたりがまだできていないことから生み出されていることがほとんどです。

ここ附属東雲小学校ではこれまでもこれから皆さんの一人一人の「ところ」を大切にしながら、皆さんの「ところ」と「ところ」をうまく組み合わせたりつなぎあわせたりすることで新たな「チーム東雲」、新しい「東雲家族」となっていけることを大事にしていきたいと考えています。

この先の後期には、東雲まつりや東雲小学校の 150 周年の式典、そして日本だけでなく世界各国からも参観者が来られる公開研究会などの特別な行事もたくさんあります。これからの後期の中でも、皆さんが元気な姿でこれまでの学びや経験や体験と、今後の学校の中での様々な活動を一人一人が色々と海あわせたりつなぎあわせたりしながら楽しんでくれることを期待しています。